

東日本旅客鉄道株式会社

代表取締役社長

富田 哲郎 様

要 望 書

平成25年8月6日

福島県南相馬市長 桜井 勝延

## ＪＲ常磐線の早期運行再開について

当市は、平成２３年３月１１日に発生した東日本大震災で、市民６３６人の尊い命を失い、沿岸部を中心に甚大な被害を受けました。加えて、東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故によって、警戒区域、計画的避難区域、緊急時避難準備区域とそれ以外の区域に分断され、住民の避難、事業所の閉鎖や撤退などから、社会経済活動が著しく停滞し、存続が危ぶまれるほど深刻な状況に陥りました。平成２３年９月には緊急時避難準備区域が解除され、平成２４年４月には避難指示区域が避難指示解除準備区域、居住制限区域及び帰還困難区域の３つの区域に再編され、現在は、一刻も早く被災者の生活を再興し、市民が安心して住み続けることができる環境を取り戻すため、各種復興事業に全力で取り組んでいるところです。

このような中、小高区を中心とする避難指示区域内においては、帰還困難区域及び津波被災地を除き、道路、上下水道などのインフラ整備を平成２５年度内の本格復旧に向け目標どおりに進めているとともに、平成２５年４月には小高区区役所を再開させ、今後は、その他公共施設の平成２５年度内の再開、さらには、市立小高病院外来機能の平成２６年４月の再開を目指し、市民の帰還に向けた環境整備を進めているところです。民間においても、平成２５年４月には小高郵便局が再開し、順次、４５事業所も再開し始めるなど、避難指示区域内の復興の兆しが徐々に見え始めております。

ＪＲ常磐線については、これまで原ノ町駅以北の運行再開等が着実に進められておりましたが、原ノ町駅以南についても、先般、広野～竜田間の早期運行再開の方針が示されました。当市においても常磐線の運行再開は、より一層の復興加速化のため必要不可欠なことから、下記のとおり要望します。

### 記

#### １．ＪＲ常磐線原ノ町駅以南への運転区間延伸について

ＪＲ常磐線については、復興の加速化及び住民の帰還支援に欠かすことのできない公共交通機関であることから、早期に、原ノ町駅以南の小高駅まで運転区間を延伸すること。